

日本学術会議

いささか旧聞に属する話。現在では、問題が発生した時の興奮状態が嘘のように静かだが。菅総理が、学術会議に推薦された 12 人のうち 6 人をはねた。当初は、野党全体が、学問の自由を侵害するとさわいだが、共産党ばかりが得をする話なので、一気に興味を失っていまや話題にもものばらない。

もともと GHQ の命令でできたのだが、マッカーサーの考えでは、公職追放をあらゆる部門でおこなって、これを逃れたのは、できの悪いのか、左巻きか、戦争中は国民を戦争に駆り出し、自らは学問という防壁で隠れていた者のうち、戦後になって突然転向したものばかりであった。卑怯な連中で保身のためには何でもする。たとえば幣原喜重郎が、「戦力を持たない、」と擦り寄り、中澤俊義などの転向組がこの話にとびつき、転向組というのは、すでに書いたように戦争中にはそれ行けと国民を鼓舞していたものが、戦後、間違っていた、とかなんとか、まあ変わり身の早さで生き残ろうとした連中を意味する。家永三郎の教科書裁判をみればわかる。……そういう節操のない連中をみて、米国のジョージ・ケナンが、「日本を共産主義にするつもりか」と激怒し、気の小さい、思想も何も持たないマッカーサーは、あわててレッド・パージ（赤狩り）をおこなったが、時すでに遅く、中澤らは、それをすり抜けて生き残った。……南原繁は、講和条約の締結時、西側諸国との半面講和を否定し、ソ連など共産主義国家とも講和するべし、との全面講和を主張し、時の吉田茂総理をして「曲学阿世の徒の空論である」と言わしめた。理想はそうだが、日本の共産主義者は武力革命も準備していたらしく、日本共産党はいまだに、一定の環視下におかれていて、これが国会議員数の多少の増減はあるにしても、ある程度の支持率を超えない理由である。

そして 70 余年、連綿と続いてきた、といえども聞こえがいいが、それぞれ息のかかった弟子たちを推薦してきて、いつの間にやら共産党の巣窟になってしまった、という人がいる。別に、共産党でもええねんけど、「日本」の国防にとって不利なことを禁止し、中国共産党の武装を利するにいたっては、みな怒る・・・国賊！と。「日本」学術会議やろ？

この中澤の弟子らが、現在も学術会議を牛耳っていて、米国がおざなりに作った日本国憲法の一文字一句を変えずに生き残ってきて、その憲法を作った男から「まだあんなものを使っているのか」と驚かれた。日本語としても文章が練れておらず、その解釈にとまどうこともいくらでもある。……アメリカの憲法学者は、いつでも書き換えられる用意をしているが、日本の憲法学者は、学術会議にもようけおって（つまり必要以上にいるということ）、今の憲法を後生大事に敬っていて、変える気など毛頭ない。そのくせ、10億円といわれる研究費（当然日本国からの支出である。）の配分に力を発揮する。憲法なんか、70年も前のものだから、今更変える気もないのなら、一人当たり鉛筆と紙代で、研究費は1万円もいらないだろう。

それより、阪大の教授が、新型コロナのワクチンを製造するという話に、研究費を十分に出資すればいいのに、「いったん自分の自由に使える金が入ると、自分の金や」と思いこみよる。……まあ、これは銀行でも公務員でもそうだが。リニアコライダーを使って素粒子研究に必要な金額を国がだそうとすると、「ひとところに巨額の金額を出資すれば、他のプロジェクトに金が配分されなくなる」（……理解できますか？）など、子供でもバカにする理屈をこねる。これは、さすがに国が出資して学術会議の欲張りらが口をだせなくなった。自分がリニアコライダーについて知らないのだから、口をはさむ余地がないのに。彼らを1行で表せば、「学はあっても、バカはバカ」

櫻井よし子・門田隆将・奈良林直元北大教授の鼎談が面白かった。むろん、学術委員会のバカさ加減を嗤い、かつ非難するものである。島田洋一、長谷川幸洋氏ら、まともなメンバーも書いておられる。

学術会議に参加できなかつたら学問ができない、というなら、日本には学者が1000人もいないことになる。

学術会議なんか、あってもなかつても学問はできる。だから菅さんが拒否したとき、「学問の自由が奪われる」と騒いだが、特に野党はバカだから、経緯も知らずにはしゃいでいたが、共産党系に属する、と聞いてから黙ってしまった。学問と政治は、本来緻密な関係があるような、かつないようなものだから、（現に自分らがそうやる？）好きにすればいいのである。

1950年、「戦争を目的とする科学の研究には絶対に従わない決意の表明」

(声明)

1967年、「軍事目的のための科学研究をおこなわない声明」そ
して忘れた頃になって、突然

2017年、「軍事的安全保障・研究に関する声明」・・・・・・・・・・・・・・・・・・
日本を亡ぼす気か！

こんなもん、税金を引き上げて、カネをださない、といえは黙ってしまう程度の覚悟しかない。上の2つは、時期的にも意味があるのかもしれないが、最後の声明については、中国共産党の軍関係の仕事をしてもいい、とでも言いたいのだろうか？わざわざ50年も経ってから公にするのは、なにか後ろめたさがあるらしいことがわかる。現実には、日本と中国共産党との兵器や軍事に費やす金額に圧倒的な差ができています。

3つの声明で、中国共産党とのかかわりを露呈してしまった。口が滑ったようなもので、腹の中では反日そのもの。日本がなくなったらどうする気なのだろう？「中国日本州」で残ると思っているのがいるらしいが、香港はじめ、弾圧されている国や人民を今日の前にして、ノー天気にも残ると思っているのが可笑しい。

国際政治というのは、「話し合い」で解決するものではない。学術会議の中でもそうやろ。話し合いですべて円満に解決するはずがない。国際政治では、国力、つまり軍事力が決定的な役割を果たすものである。いくらチベットやウイグル・内モンゴルあるいは香港の弾圧を非難しても、「内政干渉だ」と我をはるのは、中国共産党ではないか。・・・・・・・・United Nations いわゆる国連で、「国際連合」と訳した外務省の事なかれ主義が、諸悪の根源である。あれは、「連合軍」と訳すべきで、二度と日本のような白人国家に反抗する国がでてこないようにするためにつくられたものである。国連憲章を読めば、あるいは日本国憲法の前文を読めば、子供にもわかる。

一部の人以外は信用しないだろうが、共産党の志位が「学術会議は、日本の科学者を内外で代表する機関だ」と語ってみたり、委員会のメンバーが、「学術会議は、学者の国会だ」などといまさらとぼけたことを言う。これに対し、東大の戸谷友則教授は、『『学者の国会』とか『87万人の学者の代表』という言い方をやめてほしい。』それを言うなら、「学者の朝日新聞」

というべきだ。学者すべての投票で、委員として選ばれるのは、現在の学術会議員の5%もいないのではないか。

中国共産党の千人計画というのは、金にあかせて、世界中から「中国の軍事」に貢献する「学者」を呼びあつめるものである。米国では、これに参加しようとした男を逮捕した。日本の学術委員会のなかには、中国共産党から選ばれたと自慢するバカまでいるという。こういう、軍事研究は、日本では不可だが中国では可など、二重基準（Double Standard）を平気で主張する。何が「学者の国会だ」。馬鹿者。中国の軍事を強化すれば、真っ先に日本が狙われる。そのとき、自分だけは、生き永らえらるとでも考えているのだろうか。……こういうのをノ一天気な国賊、売国奴という。第一、どこからどこまでが「軍事」になるのかさえ答えられないと思うのだが。インターネットも「軍事」といえばそうである。そういう非国民を取り締まる法律（スパイ防止法）がないのは、日本国民としては恥ずかしく思わないのが不思議である。なければ憲法に追加すればいいだけなのに、憲法学者は動かない。国を売るもので、悪夢の民主党政権と変わらない。

たとえば、北大のM教授（調べればフルネームはわかるが、櫻井氏らがイニシャルをつかっているため、そのまま使用する。）の話がある。防衛省の安全保障技術推進制度に応募し、採択された。

船底と海水との間に泡をいれることで抵抗を減らし、燃費を10%も削減できるという画期的なものである。

これを学術会議が「軍事研究」と決めつけ、批判した。これを左巻きの連中が大挙して後押しし、結局、北大の総長はM教授が危険でもある、と辞退せざるを得なくなった、と思いたい。（本当は違って、北大の学長が次の学術委員に選ばれる話なのかもしれない。まちがっていたら、学長さんに謝罪しますが）……こんなもん、警察なり、自衛隊なりに護衛させておけばすむことではないか。……かように、他人の学問・研究をつぶしておいて、箸にも棒にもかからない、役立たずの研究に金をバラマク。この研究によれば、世界中の船舶で燃費の削減が可能になり、地球的規模でエネルギー問題の画期的な解決法のひとつになるではないか。……国賊は日本だけであるが、タンカーや普通の船舶については、世界中の損失である。それならこんな会議など、つぶしてしまえばいい。

N先生の小型で安全性の高いロケットの研究は、燃料がプラスチックと液体酸化剤で作動するロケットエンジンを用いた安全性の高い小型ロケ

ットの開発にも、因縁をつけてつぶしてしまった。鼎談の奈良林先生が北大だから、北大の研究の経緯に詳しい。

多くのすぐれた研究のうち、北大関連のものが目立つのだが、なんか裏があるのだろうか。奈良林先生は賢いから、口をすべらせるようなことはしない。

また義務についても、この 10 年、国家に対して有益な提言をしたことがあるのか。それをしなければならぬのに全くしないなら、学会など、存在価値がない。

リニアコライダーのところで連想が働いて、悪夢の民主党政権のとき、事業見直しとか言って、日本人+台湾人のレンホーが、世界の Computer を 2 番じゃだめなんですか？・・・ダメなんです。理由は、読者がよく知っている・・・2 番以下はゴミなのです・・・もっと賢い、包括的に物事を判断できる人材はいないのか！ 国費を削ることしか頭がないため、スカタンを言う、する。リニアコライダーも同じで、世界最大、最高のものでなければならない。でなければ、世界中の頭脳、日本人の頭脳を活用する意味がない。あと、女でうるさいのが、前科者の辻元くらいじゃあ役者不足は補えない。福祉関係に親切かといえ、そうでもなくて、ある温厚な女性が血相変えて「不愉快です！！」と怒鳴りつけたくらいだ。・・・アホには理解できなかったようで、すぐに予定どおり他の話題に変えた。俳優か何か知らないが、息子がいて「親離れします」。見たこともないが、どうせ話題だけででてきた芸人。すぐ消えるだろうが。・・・かつて学生時代に研究室にいた女の子が教授の娘だった。われわれは興味なかったのだが、仕事でもろにあたった男がひとこと。「アホのくせに生意気や」ゆうてものすご嫌っていた・・・レンホーもいっしょやろ。ほかに女といえば前科者の辻元。ダメだ、こりゃ。

レンホーは、「尖閣のことは米軍に任せて」他の方面に金を使いたい。尖閣には、米軍の力は必要であるが、自衛隊が出動しないのに米軍が貴重な米兵の命を粗末にできるわけがない。これだけでも、程度がわかる。おまけがある。自衛隊の制服を中国でつくれ、安上がりだから。・・・あの制服には、いろんな秘密のアイデアが入っている。「敵」にそのノウハウを教えているのと同じ。ネッ、わかるでしょ。

旧民主党である立憲なんかの支持率がさがる一方で、あんまり生意気

だから、同じ党の議員から、菅総理の支持率を上げるには、レンホーに質問させたらいい。旨い事言うなあ。座布団 1 枚！

だから、奈良林先生らは、学術委員会とは、まったく独立して、自由闊達に議論できる会をみずから立ち上げて活躍しておられる。

そうすれば、今一番の懸案である新型コロナウイルスのワクチンも国産にする可能性がでてくる。阪大教授が、ワクチンの作り方を具体的に説明していたが、如何せん、資金が乏しい。学術委員会の資金と国から新たに出資すれば、もうできていても不思議ではない。安倍晋三前総理は、コロナがでたころから衰えてしまって、後手にまわったが、いまからでも遅くない。国産ワクチンの製造に全力をあげてほしい。でないと、外国の企業にいいようにふりまわされ、副反応もこちらの責任、などと下手にでざるをえないのである。輸入本数もじわじわ減らされているではないか。

2021 年 4 月、しばらく静かにしていた学術会議が声明を発表し、ナントカの繰り返しのよう、「学問の自由」を蒸し返した。このバカ者ども！ 考えたらわかるやろ、今、日本は武漢ウィルスの進撃によって「国難」に陥っている。これに対する有効な手段でも考えているのか、と思えば、なんのことはない。自らの既得権益を守るために、問題になった初めのように「学問の自由」を恥ずかしげもなく繰り返す。そのための謀議をおこなっていただけで、国難の回避のために、たとえばワクチンを作成しようという連中にカネでも人でもなにかお手伝いできませんか、というのが正論だろう。それを自分たちの生き残りをかけてまだ政府に文句をいうとは、情けないを通り越している。政府は、忙しいねん。邪魔をするな！